

新人登山大会中部ブロック予選会 予報（井原山～雷山山系）

福岡県高体連中部ブロック登山専門部

1. 大会山域について

糸島半島は、弥生時代より大陸からの新文化を受容する玄関口としての役割を担っており、中国の歴史書「魏志倭人伝」に伊都国で記述されています。特に、国指定史跡の平原（ひらばる）遺跡から日本最大の銅鏡が出土している。

明治29年に、怡土（いと）と志摩（しま）の2つの郡が合併し、「糸島郡」が誕生した。その後昭和40年に複数の町と村から形成されていたが前原町、二丈町、志摩町の3つの町で形成されるようになった。

さらに、平成4年には前原町が市制を施行し前原市になり糸島郡からわかれ、平成22年に、前原市、二丈町、志摩町が合併し「糸島市」が誕生した。

大会山域である雷山の中腹には742年に開山された千如寺（せんによじ）があり、その中にある大悲王院（だいひおういん）は1752年に黒田継高（つぐたか）公が建立した建物である。境内には樹齢約400年の大カエデがある。この千如寺からさらに登ったところに雷（いかづち）神社があり、ここには県指定天然記念物である樹齢900年のイチョウ、250年のモミの木、400年以上のイロハカエデ、1000年を超す観音杉がある。

井原（いώρα）山は脊振山脈で脊振山に次ぐ第2位の標高で982.4mある。ふもとには幕営地である瑞梅寺山の家、1976年に管理開始された瑞梅寺ダム、さらに上に登っていくと全長1600m以上の水無鍾乳洞がある。この谷は石灰岩の溪谷となっており、鍾乳洞入口付近にフクロウの形をしている「こうぞう岩」と呼ばれる岩がある。このこうぞう岩の下から湧水がでていいる。この辺りは7月中旬に咲くオオキツネノカミソリが非常に有名である。今回の山域には東側からアンの滝、現在通行止めになった二段の滝、雷山から下山中に通過する清賀の滝と3つの滝がある。

登山山域の植生は、山頂付近の稜線にはコバノミツバツツジ・ブナ・ヤマボウシ・ツゲ・アカガシ等があり、中腹にはスギやヒノキの植林地帯、自然林はカヤ・ヤブツバキ・タンナサワフタギ・サンショウ・シロモジなど点在し、さらにふもとには竹林がある。山域の林床にはミズヒキ・キンミズヒキ・クマザサ・ヤブミョウガ・ヤマジノホトトギス・リョウメンシダ、カンアオイ等の植生が非常に豊かである。

脊振山系の東側は基山（きざん）から西側は十坊山（とんぼやま）まで続く福岡県と佐賀県の境界となっており東西に50km以上と非常に長い距離の山系となる。最高峰である脊振山（1055m）をはじめ今回の山域である井原山・雷山の他に金山（かなやま）・羽金山（はがねやま）は標高900mを越えている。

2. 荒天対策

10月19日に起こった場合

	地震 (震度 5 弱以上)	台風・気象警報以上 WBGT31 以上	大雨注意報・雷注意報発表時
10月19日	大会中止・早期帰還準備	宿泊所待機・行動中止	通常行動
10月20日	帰宅完了	ルート短縮・行動中止	通常行動

10月20日に起こった場合

	地震 (震度 5 弱以上)	台風・気象警報以上 WBGT31 以上	大雨注意報・雷注意報発表時
10月20日	大会中止・早期帰還準備	宿泊所待機 行動中止	通常行動

※上記以外でも現地の状況により安全最優先でコースの短縮や行動隊形の変更を行う可能性がある

3. 大会コースのルートガイド

瑞梅寺山の家を右に曲がり出発する。車道を下っていくがこの区間は民家の集落を早朝に歩くので迷惑をかけないように進んで欲しい。すぐに左が瑞梅寺ダム・右がキトク橋の丁字路になる。丁字路を右へ曲がり車道を進んで行くと左にキトク橋・正面に駐車場・右に登山口があり右の登山道を進む。登山口にはヤブランの群生があり、林道にはサクラが植樹されている。登山道を進むとスギの植林地帯となり林床にはヤブミョウガ・リョウメンシダがいたる所に自生している。しばらく登山道を進むと左に曲がり木道を渡る。さらに進んでいくと左手の沢を渡渉する地点がある。大雨で岩が不安定になっていたり、鋭い岩がある可能性があるため、渡渉や沢沿いを歩くときは手袋を着用すること。慎重に渡渉し2～3分ほど登ると**広域林道**に出会う。この道脇にはツリフネソウが咲いている。車道を横断し再び沢沿いの登山道をトラバースしながら進む。途中で足元が崩れている箇所があるので注意して進む。ここから3つの沢を横切るが橋が架かっているため滑らないよう注意して通過しよう。3回目の沢を渡渉したところから滝の音が聞こえ始め、すぐに**アンの滝**に到着する。アンの滝を通過して登山道を進むと淵があるので渡渉して左側から巻いて通過する。そのまま沢沿いにケルンを確認しながら進むと分岐に到着する。左が水無登山口、右が井原山山頂となっているので、右の井原山山頂に進む。数回ジグザクに登りきるとトラバースの道となる。この時ジグザクにつられて尾根に登らないように気を付けよう。登山道をしばらく進むと第一ベンチが見えてきて、ここから左側の斜面をトラバースしながら進む九十九折の急登になる。この辺りからカヤやヤブツバキ、林床にはカンアオイが点在してくる。九十九折を終えると第二ベンチがある。このあとも尾根に出るまでは急登がつづく。尾根付近になるとクマザサが登山道付近に生い茂ってくる。

トラバースが終わると**水無尾根分岐**に到着し左は水無登山口、右は井原山山頂となっているので右側に進む。ここから山頂までは緩やかな尾根道になり、タンナサワフタギやヤブツバキ、リョウブ等の自然林がみられ、また、石灰岩もみられる。脊振山脈の稜線が近づくとコバノミツバツツジの群生もみられる。そのまま進んで行くと丁字路になる。ここが**瑞梅寺分岐**である。左は井原山、右は雷山への分岐となり丁字路を左に進む。クマザサ、コバノミツバツツジに囲まれた急登を滑らないように進んでいくと**井原山**山頂に到着する。(この区間はピストンとなる)

井原山山頂は360度の展望があり北側は糸島市・福岡市、南側は佐賀市が見える。東側には三郡山の先に全国大会の山城でもある英彦山が見える。山頂からは三瀬峠・古場(こば)・雷山方面と3つのルートがある。また、山頂の岩場にはマムシ注意の看板があるので近寄らないこと。

一息ついたら、間違えないように登ってきた道を引き返し雷山へと向かおう(2回目の瑞梅寺分岐は記録不要)。ここからしばらくは尾根を進むこととなる。瑞梅寺分岐を通過しコバノミツバツツジやツゲのトンネルをくぐり抜け、ブナやアカガシの自然林をみながら稜線を歩いていくと本富士山と書かれたピークを通過する。さらに進むと小さなピークがあり手前に巻き道がある。巻き道は使用せずにピークを通過する。ピークからは尾根を北へ降りるルートがあるので間違えないように雷



沢の渡渉場所



淵を左から巻く



井原山からの展望



現在通行禁止の洗谷ルート

山へ向かう。さらに進むと**富士山**（ふじやま）に到着する。ここからはスタート地点付近である**瑞梅寺ダム**が見える。山頂にはツゲ・ヤマボウシが特に目立つ。雷山を目指して進んでいくと右側に中腹自然歩道分岐があり、さらに進むと左側に古場分岐がある。そのまま尾根を進んでいくと**雷山**に到着する。雷山も展望が開けているが特に西側の羽金山にある標準電波送信所の電波塔がよく見える。

雷山山頂からは左側に草原地帯を経て避難小屋へ進む道もあるが直進の上宮へ下山していく。上宮までの区間はブナやツゲなどの自然林がある。上宮が近づいてきたらスギの植林となる。木の階段となりしばらく降りていくと上宮に到着する。

上宮はイロハモミジで囲まれている。上宮からは左が雷神社、右が清賀の滝となるので右へ進む。ここからはトラバースしながら3回谷を通過しなければいけない。この区間も手袋を着用する事。滑落には十分注意をしてルートを踏み外さないように進もう。特に2つ目の谷は支柱が崩れて鎖で補強してある。道に迷わないよう、足元に注意しながら通過しよう。トラバースが終わると尾根を降る。この辺りはアオキが群生している。しばらく歩いていくと滝の音が聞こえ、**清賀の滝**に到着する。この滝の落差は15mといわれている。清賀の滝に到着したらそのまま沢沿いを進むように降りていく。この区間も手袋を着用する事。増水して沢が渡渉しにくい場合は、車道の橋を渡るとすぐに右側に沢の登山道へ合流する道があるのでそこを利用する。沢沿いをそのまま歩いていくと右側に防火水槽のフェンスがあり広域林道である車道に合流する。左が雷神社、直進の登山道が千如寺、右が瑞梅寺方面になっているので右に進む。車道の脇にはヨウシュヤマゴボウやタラノキ、アカメガシワなどが点在している。この車道を進み20分ほど歩くと左側から千如寺からの登山道と合流し、すぐ先に右側に中腹自然歩道へ入る看板があるので見落とさずここから再び登山道に入る。この辺りもスギの植林となっており、この中の登山道を歩いていく。登りつめると右に分岐がある。右は縦走路へ向かうので直進する。このまましばらく下っていくと沢に合流する。その沢沿いに進むと先程の車道と合流しここが**中腹自然歩道登山口**となる。ここで車道を右に進むとすぐに井原山入口バス停の看板がある。このまま車道を進んで行くと直進と左に下る分岐に出る。ここを左に曲がり下っていくと沢沿いの道となる。この付近は竹林になっており、沢に沿って下ると民家が見えてくる。民家の道を進んで行くと三叉路があり左が瑞梅寺ダム、右が井原山入口バス停と表示があるので右に進む。この辺りは分かれ道が数本あるので間違えないよう進もう。右に瑞梅寺山の家グラウンドとつながる道が見えてくるがここからは入らずに車道を進み**瑞梅寺山の家**を目指す。ゴール地点はスタート地点と同じ場所となる。



富士山手前の巻き道
ピークへ向かう



瑞梅寺山を家の横を通過

上宮通過後のトラバース



十字路の林道を右へ曲がる



井原山入口バス停の看板

